令和 2年度 基本事業評価シート（令和元年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
 施策 03 障がい者（児）福祉の推進
 基本事業 04 療育指導・相談の充実
 主管課： 社会福祉課・こども療育教室
 関係課： 児童福祉課、保健センター、介護福祉課、指導室、社会福祉課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 療育が必要なこどもとその保護者	意図（どのような状態にしたいのか） 相談や健診等により障がいを早期に発見し、適切な療育指導を受けられるようにする。 相談や療育指導を受けることで、保護者の不安を軽減する。
-------------------------------------	---

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

療育利用契約者数 (人) 社会福祉課					
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)	
87.00	114.00	124.00	120.00	120.00	
向上指針	上がると良い	(状況) こども療育教室の利用契約者数は124人で、前年度より10人増加しています。 (原因) 今後の利用契約者数については、市内の未就学児童の人口推移が、今後数年間は大幅な減少が予測されていないため、今後も同程度の利用契約者となることが考えられます。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

療育指導回数（年間） (回) 社会福祉課					
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)	
2,026.00	2,715.00	2,273.00	1,300.00	2,100.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 令和元年度のこども療育教室での指導回数は2,273回で、前年度と比較して442回減少しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策で、3月は臨時休業としたため、指導回数が減少しました。また、利用者の体調や家庭の都合等により欠席となることもあるため、指導回数については、ある程度増減することがあります。			
対前年度	低下				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

療育相談件数（年間） (件) 社会福祉課					
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)	
574.00	852.00	901.00	900.00	600.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 令和元年度に、こども療育教室で受けた相談件数は901件で、前年度より49件増加しています。 (原因) 相談は利用契約者に限らず一般の方からも寄せられています。相談内容も、こどもの発達に関すること、家庭での生活、保育所・幼稚園及び小学校に関すること、医療に関すること等多岐に渡っています。直近の3年間の相談件数は800件から900件で推移しており、今後も同程度の相談件数が見込まれます。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					